お祝いのことば

本日、ここに特別養護老人ホーム仁慈苑の皆様の御長寿をお祝いできますことを心からお喜び申し上げますとともに、本会の実施にあたり御尽力されました関係の皆様に厚くお礼を申し上げます。

私たちのふるさと旭川は、明治二十三年に、旭川・神居・永山の三村が置かれてから、今年で百三十年の節目を迎えています。本市が、北北海道の拠点都市として発展を遂げ、こうして大きな節目を迎えられますのも、先人たちが未開の地に開墾の鍬を入れ、戦前・戦後の激動の時代を懸命に生き抜き、日々、刻々と変化する社会を力強く歩み続けてこられた賜物であり、この平和で明るい社会を築いてこられた皆様方の御尽力に衷心より敬意と感謝の意を表します。

引き続き、皆様方がこれまで培ってきた豊富な知識や経験を、まちづくりにお寄せいただき、旭川の更なる発展と輝かしい未来に向け、お力添えを賜れれば、大変、心強い限りです。

今、新型コロナウイルス感染症が世界規模で流行し、私たちは、未曾有のウイルスの脅威にさらされております。本市といたしましても、窓口をはじめ、各種イベントなど様々な面で感染対策を講じておりますが、皆様の安心で安全な生活をしっかりと守っていく決意で、医療保健体制の強化はもちろん、冷え込んだ地域経済の回復に向けた取組を進めてまいります。

皆様方は「新しい生活様式」を実践されるなど、日々、感染防止に努められていると存じますが、気を緩めることなく、新型コロナウイルスに負けないよう、共に頑張っていきたいと思っています。

結びになりますが、皆様が、趣味や健康づくりなどを通じ、有意義な日々を送られますとともに、いつまでもお元気で過ごされますことを心からお祈り申し上げ、お祝いのことばといたします。

令和二年八月三十一日

旭川市長　西川　将人